

第10回日本在宅栄養管理学会学術集会

日時：7月15日(土)～16日(日)

開催形式：現地開催、オンデマンド配信(8月1日～31日)

会場：大妻女子大学(東京都千代田区)

テーマ：人生100年時代を在宅栄養が支える—多様化するニーズに応えるために、かかりつけ管理栄養士を目指す—

プログラム：基調講演「栄養障害の二重負荷に立ち向かう在宅訪問管理栄養士」中村丁次(公益社団法人日本栄養士会代表理事会長)／シンポジウム1「人生100年時代—私たちが描く未来予想図」久保香苗(医療法人稲生会生涯医療クリニックさっぽろ)、水野優子(栄養サポートオレンジよこはま)、安田和代(医療法人かがやき総合在宅医療クリニック、佐々木由紀子(医療法人社団ユニメディコ山手台クリニック)／2「第8次医療計画をふまえた日本在宅栄養管理学会の役割」武田俊彦(ボストンコンサルティンググループシニアアドバイザー)、鈴木邦彦(医療法人博仁会理事長)、阿部絹子(公益社団法人日本栄養士会常務理事)／パネルディスカッション1「ここまで来たぞ!! 街づくりをふまえた地域連携」荒金英樹(一般社団法人愛生会山科病院消化器外科部長)、本川佳子(東京都健康長寿医療センター自立促進と精神保健研究チーム研究員)、松木さなえ(医療法人社団都会渡辺西賀茂診療所)、相澤和彦(東京都豊島区立高田介護予防センター長)／2「地域の期待に応える専門職であるために」谷合久憲(たにあい糖尿病・在宅クリニック院長)、菊谷武(日本

歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック院長)、高岡里佳(医療法人社団好仁会滝山病院地域医療連携室室長)、椎名美貴(悠翔会くらしケアクリニック練馬／ソフィアメディ株式会社社官民連携看護部看護師)、山下和典(メディケア・リハビリ訪問看護ステーション京都)／3「在宅や地域の事例から栄養ケアのアウトカムを考える」森茂雄(JA愛知厚生連豊田厚生病院栄養管理室)、玉浦有紀(新潟県立大学人間生活学部健康栄養学科講師)、西岡心大(是真会長崎リハビリテーション病院教育研修部副部長／栄養管理室室長)

参加費：

【事前登録】 正会員・賛助会員 8000円、非会員 1万2000円、学部生・大学院生 1000円(要学生証提示)

【当日登録】 正会員・賛助会員 1万円、非会員 1万5000円、学部生・大学院生 1000円(要学生証提示)

【オンデマンド参加登録】 正会員・賛助会員 1万2000円、非会員 1万5000円、学部生・大学院生 1000円(要学生証提示)

事務局：学際企画株式会社

〒171-0031 東京都豊島区目白2-5-24 第二ビル

☎ 03-3981-7281

✉ houeiken@gakusai.co.jp

URL <http://www.houeiken.jp/>

第31回日本健康教育学会学術大会

日時：7月22日(土)～23日(日)

会場：全国町村会館(東京都千代田区)

テーマ：エビデンスと実践のギャップに挑む

プログラム：学会長講演「研究成果

を社会に還元する」中村正和(地域医療振興協会)／教育講演1「住民の喫煙率低減を目指したアドボカシー活動」加藤一晴(浜名医師会加藤医院)／2「普及と実装を科学する—その方法と実際」島津太一(国立がん研究センター)／シンポジウム1「医療におけるヘルスプロモーションと質改善—地域医療と公衆衛生の協働を目指して」舟越光彦(千鳥橋病院)、梅屋崇(あま市民病院)、望月崇紘(君津市国保小櫃診療所)、西村正大(都祁診療所)／2「行動変容手法としてのナッジとインセンティブ—その強みと限界」林芙美(女子栄養大学)、甲斐裕子(明治安田厚生事業団)、鷲尾幸子(RTI International)／ほか

事前登録受付期間：～6月15日(木)

参加費：

【事前登録】 正会員 7000円、非会員 8000円、学生・大学院生 3000円

【当日登録】 会員 8000円、非会員 9000円、学生・大学院生 4000円

大会事務局：公益社団法人地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館15F

✉ health-promotion@jade.com.jp

運営事務局：株式会社ブランドウ・ジャパン

〒105-0012 東京都港区芝大門2-3-6 大門アーバニスト401

☎ 03-5470-4401

✉ nkkg2023@nta.co.jp

日本地域看護学会第26回学術集会

日時：9月2日(土)～3日(日)

開催形式：現地開催(ライブ配信)、

オンデマンド配信（～10月31日）

会場：川崎市立看護大学（神奈川県川崎市）

テーマ：「みんなで創る地域包括ケアシステム」の今を検証する

プログラム：会長講演「学校保健から見た地域包括ケアシステム」荒木田美香子（川崎市立看護大学看護学部）／理事会企画セミナー「ポスト・ウィズ・コロナのポジティブメンタルヘルス」川上憲人（東京大学大学院医学系研究科特任教授）／シンポジウム1「アレルギーの基本的指針改正とこれから」大矢幸弘（国立成育医療研究センター）、岩渕香菜（気仙沼市保健福祉部健康増進課）、田野成美（大阪狭山食物アレルギー・アトピーサークル Smile・Smile）／2「どう進める看看連携」宮崎和加子（一般社団法人だんだん会）、角田直枝（常磐大学看護学部）、廣瀬福美（大分県立看護科学大学非常勤演者／元老健副施設長）／3「地域看護におけるAIの活用可能性」榎原貴倫（NPO法人コミュニティリンク）、高木大地（株式会社 Cone・Xi）、芳我ちより（香川大学医学部看護学科）／ほか

【オンデマンド配信のみのプログラム】

特別講演1「地域包括ケアシステム—未知の超高齢社会への挑戦」辻哲夫（東京大学高齢社会総合研究機構）／2「地域包括ケアシステムとこれからの地域看護学教育」宮崎美砂子（千葉大学大学院看護学研究院）／3「こども基本法で何が変わるか」奥山眞紀子（社会福祉法人子どもの虐待防止センター理事）／教育講演1「地域づくりによる介護予防—JAGESの知見から」近藤克則（千葉大学／国立長寿医療研究センター）／2「地域包括ケアシステムと訪問看護分野の医療介護情報」河野あゆみ（大阪公立大学看護学部

地域包括ケア科学分野）／3「当事者の声を政策につなげるには？—当事者協働研究のあり方を考える」杉原正子（まさこ心のクリニック自由が丘院長）／4「ナノ医療の未来、看護との共創」一木隆範（公益財団法人川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンター）／5「HPVワクチン接種のこれから」小西宏（元日本対がん協会がん検診研究グループ）／研究力向上セミナー1「意思決定支援とマイクロシミュレーションモデル」中島玲子（Pfizer, Machine Learning and Computational Sciences）／2「Web調査を活用した研究の進め方」佐藤嘉倫（京都先端科学大学人文学部）／ほか

参加登録期限：

【前期】7月19日（水）

【後期】7月26日（水）～9月30日（土）

参加費：

【前期】会員1万円、非会員1万2000円、学生（大学院生を除く）2000円

【後期・当日】会員、非会員ともに1万2000円、学生（大学院生を除く）2000円

参加登録方法：下記 URL から

 <https://jachn26.yupia.net/sanka.html>

事務局：川崎市立看護大学

〒212-0054 神奈川県川崎市幸区小倉4-30-1

✉ jachn26office@gmail.com

運営事務局：株式会社ユピア

〒465-0005 愛知県名古屋市熱田区池内町3-21

☎ 050-3737-7331

✉ jachn26@yupia.net

第12回日本公衆衛生看護学会学術集会

日時：2024年1月6日（土）～7日

（日）

開催方法：現地開催、オンライン配信（2024年1月6日～2月12日予定）

会場：北九州国際会議場（福岡県北九州市）

テーマ：「自分らしく生きる」を支える公衆衛生看護活動を考える—新たな地域包括ケアの扉を拓く（ひらく）

プログラム：会長講演「『自分らしく生きる』を支える公衆衛生看護活動を考える—新たな地域包括ケアの扉を拓く」尾形由起子（福岡県立大学看護学部教授）／基調講演「健康格差縮小に向けた取組—今後の地域包括ケアの展開にむけて」近藤尚己（京都大学大学院医学研究科社会疫学分野教授）／特別講演「公衆衛生を衛る保健師の育成（仮）」村嶋幸代（大分県看護科学大学学長）／公衆衛生看護技術セミナー／シンポジウム／パネルディスカッション／共催セミナー／ほか

参加登録期間：

【前期】6月1日（木）～9月30日（土）

【後期】11月6日（月）～2024年2月12日（月祝）

参加費：

【前期】会員1万円、非会員1万1000円、学生・大学院生5000円

【後期】会員1万1000円、非会員1万2000円、学生・大学院生5000円

一般演題・ワークショップ募集期間：6月1日（木）～8月31日（木）

事務局：公立大学法人福岡県立大学看護学部

✉ japhn12@fukuoka-pu.ac.jp

運営事務局：株式会社ユピア

☎ 052-872-8101

✉ japhn12@yupia.net

 <https://japhn12.yupia.net/>